

専用機 ⇒ BT-Wシリーズ スクリプト移行手順

対象機種: BT-910/951/1000/1500/3000シリーズ

- ステップ1 スクリプトソースの修正・移植
- ステップ2 動作確認
 - 2-1 シミュレーションの場合
 - 2-2 実機の場合
- (補足)-1 クイックアップデートでの更新
 - 2 バックライトを明るくする
 - 3 専用機とBT-Wのドライブ比較

1. スクリプトソースの修正

※**BT-910/951/1000/1500シリーズのみ作業が必要です**

専用機のスクリプトのApp.scpを開き、以下の2点を修正します。

① main()の先頭に以下の4行を追加します。

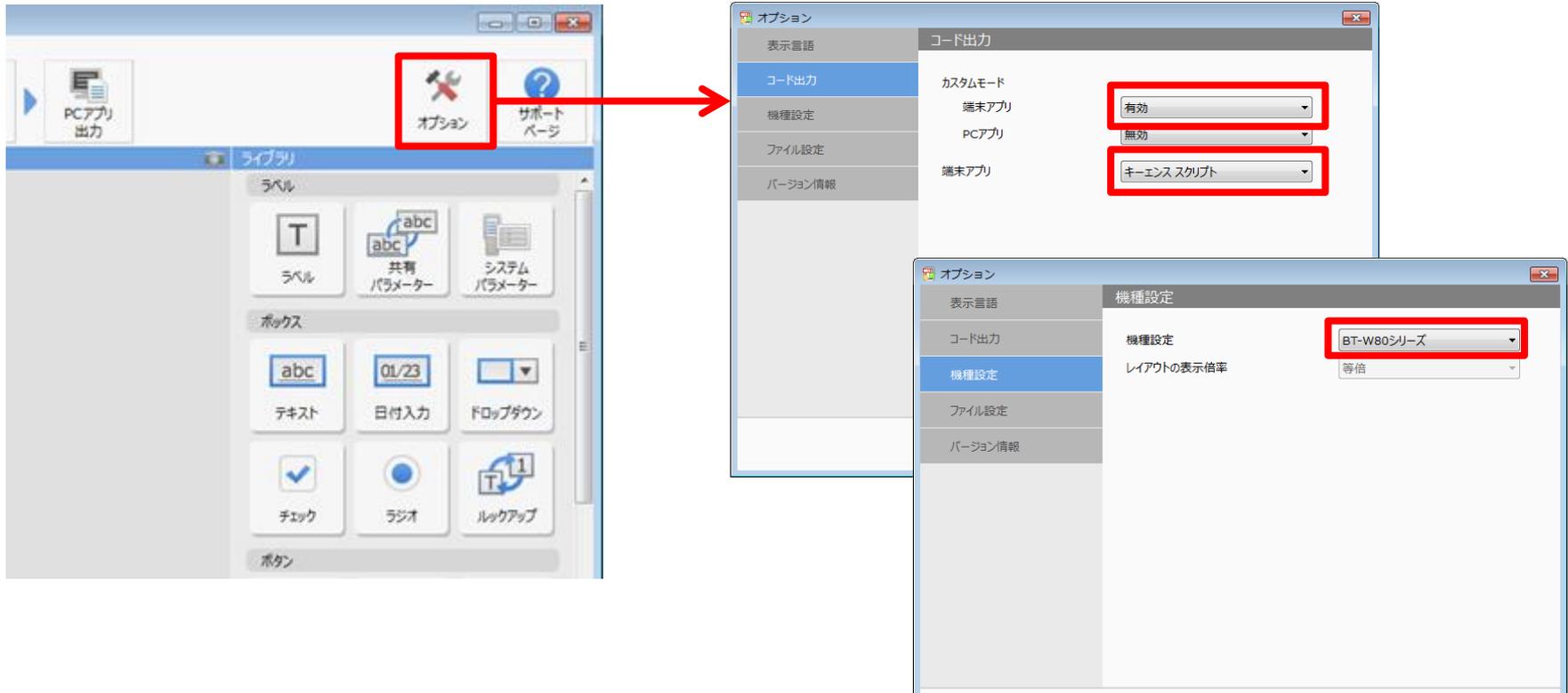
```
//-----↓  
// メインメソッド↓  
Method main()↓  
↓  
Begin↓  
↓  
If Handy:model.Left(4) eq "BT-W" Then↓  
  Window<"EMULATE_WINDOW">:visible = true↓  
  Screen:compatibleType = "BT-1000"↓  
EndIf↓  
↓  
> APP_RES:InitializeTraceLog()↓  
↓  
↓  
> FileSystem:Mount(5)↓  
↓  
> COMMON_UTL:ResetColor()↓  
> Screen:topPos=1↓ " . . ."
```

どの機種からの移行でも、原則 "BT-1000" と記載ください。

② Package APPのmenu_main()にて、機種を制限している箇所をコメントアウトします。

```
Package APP↓  
> model="BT-1500"↓  
↓  
//-----↓  
> // メインメソッド↓  
> Method menu_main()↓  
> Begin↓  
↓  
> Screen:Clear()↓  
↓  
//> > If (Handy:model.Left(7) ne "BT-1000") and (Handy:model.Left(7) ne "BT-1500") Then ↓  
//> > > Handy:ShowMessageBox("このアプリケーションは BT-1000/BT-1500 用です\nこの端末では実行できません","confirm")↓  
//> > > Handy:Reset()↓  
//> > EndIf↓  
↓  
APP_RES:InitializeTraceLog()↓
```

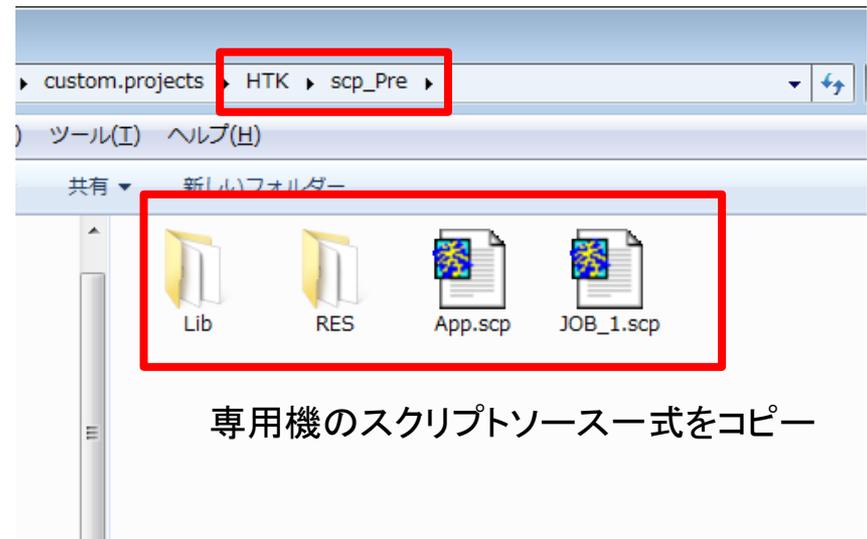
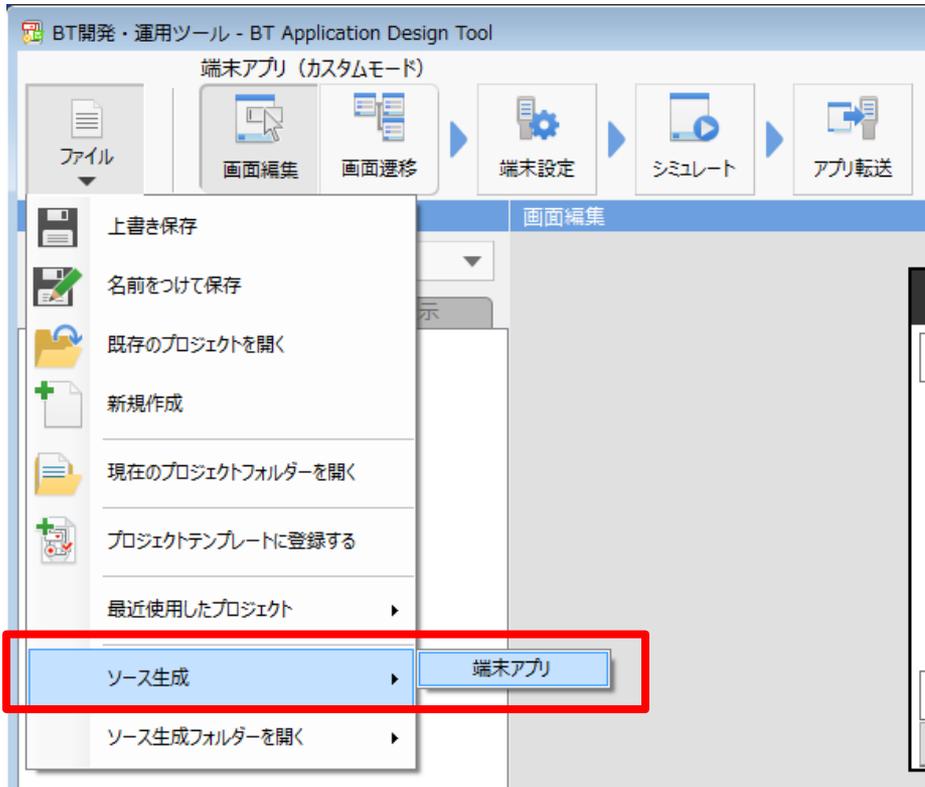
1. スクリプトソースの移植



「BT開発・運用ツール」を起動し、

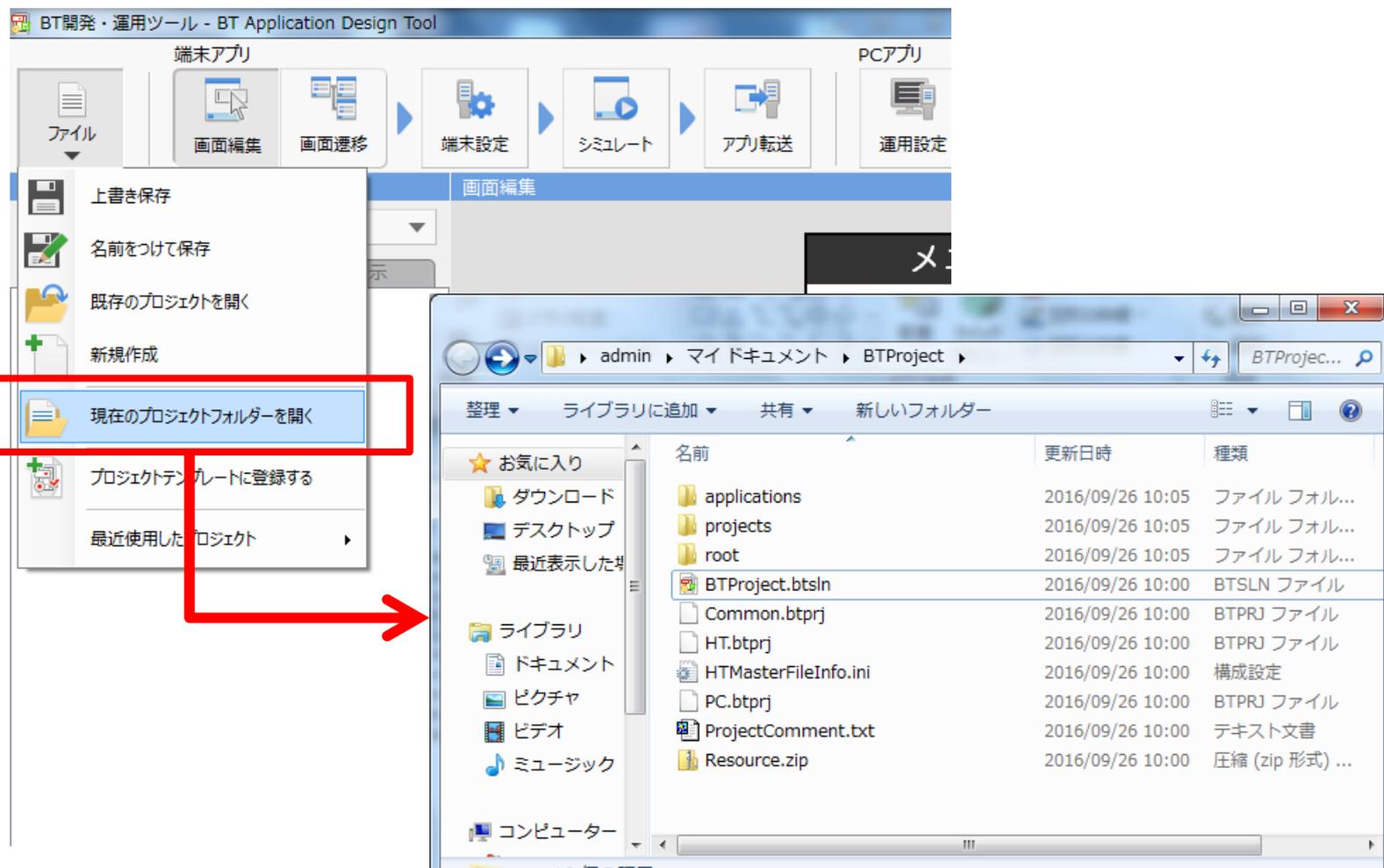
- ① [新規作成]→[テンプレートを使用せずに作成]を選択します。
- ② [オプション]→[コード出力]にて、カスタムモードの端末アプリを“有効”、端末アプリを“キーエンススクリプト”に設定します。
- ③ [機種設定]にて、機種設定を“BT-W80シリーズ”または“BT-W70シリーズ”に設定します。
※専用機はQVGA画面のため、BT-W100シリーズに移植する場合でも上記を選択ください。

1. スクリプトソースの移植



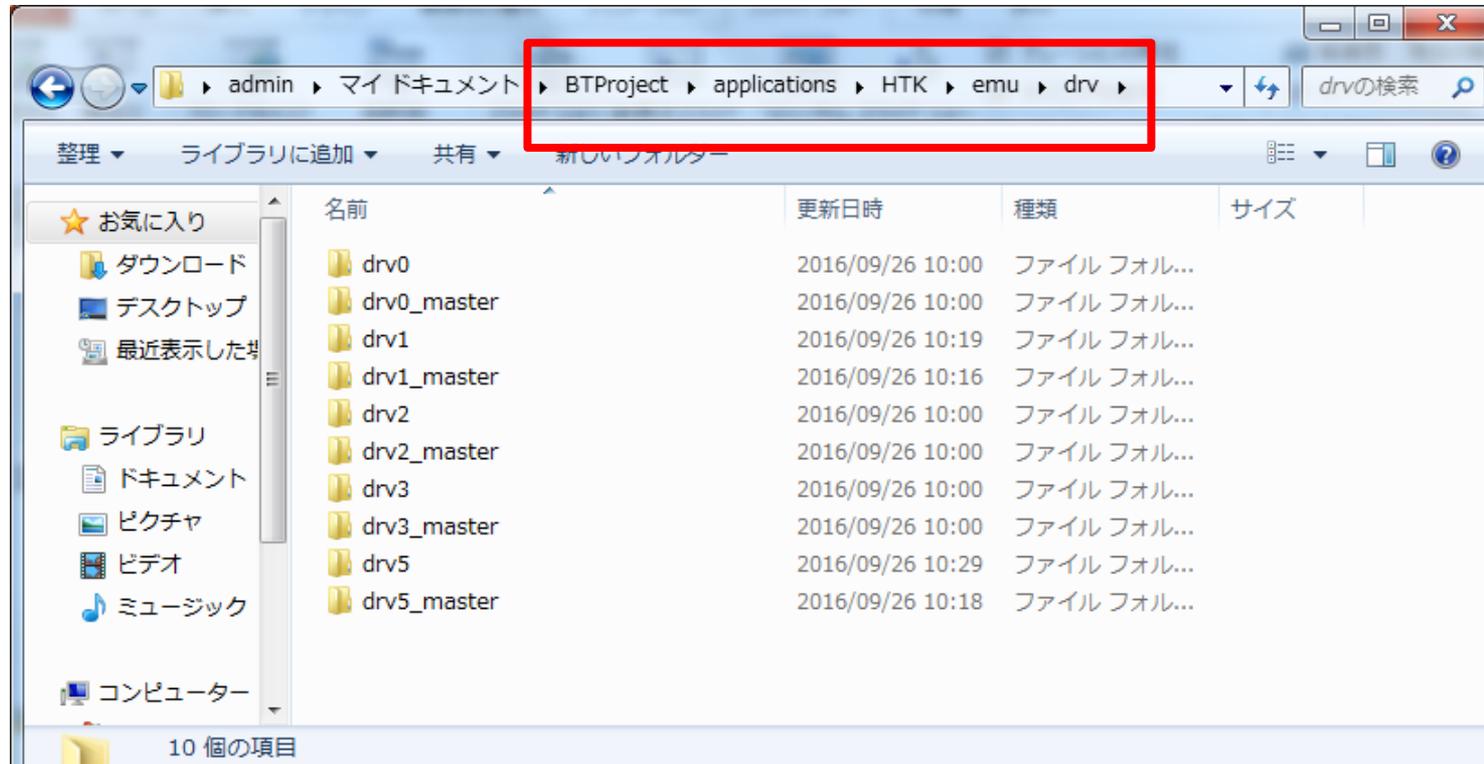
- ④ [ファイル]→[ソース生成]→[端末アプリ]を選択して、ソース生成します。
- ⑤ [ファイル]→[ソース生成フォルダーを開く]→ [端末アプリ]を選択します。
- ⑥ "scp_Pre"フォルダへ移動し、**中にあるフォルダやソースファイルをすべて削除**してから、専用機のスクリプトソース一式を同フォルダへコピーします。

2-1. シミュレーションで動作確認する場合



- ① (アプリ内でマスタを使用している場合のみ)
現在のプロジェクトフォルダを開きます。

2-1. シミュレーションで動作確認する場合



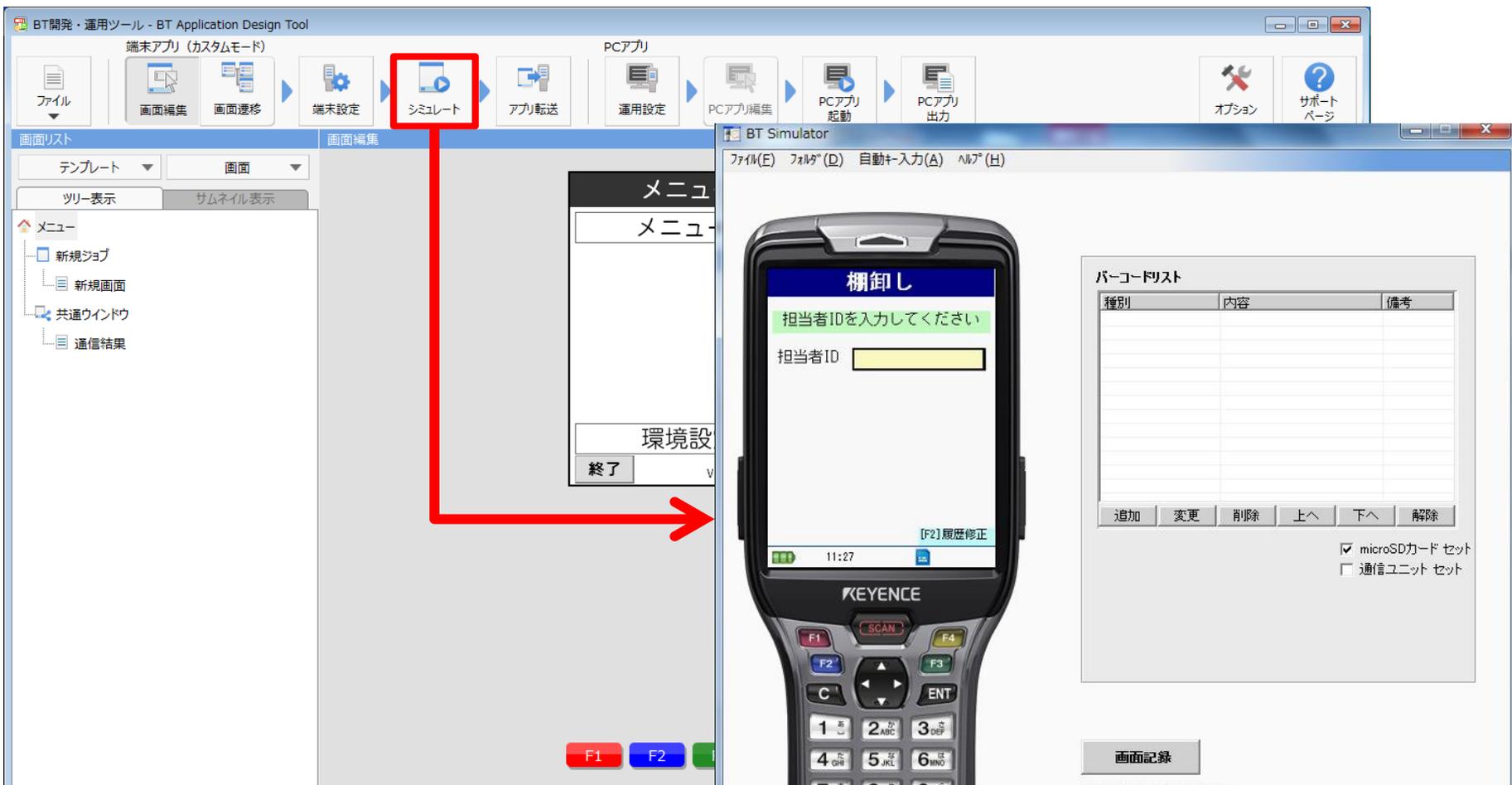
② (アプリ内でマスタを使用している場合のみ)

[プロジェクトフォルダ]¥applications¥HTK¥emu¥drv 以下に、必要なマスターファイルなどを手動で配置します。

ポイント：置き換えマスタは変換後のものを配置する必要があります。

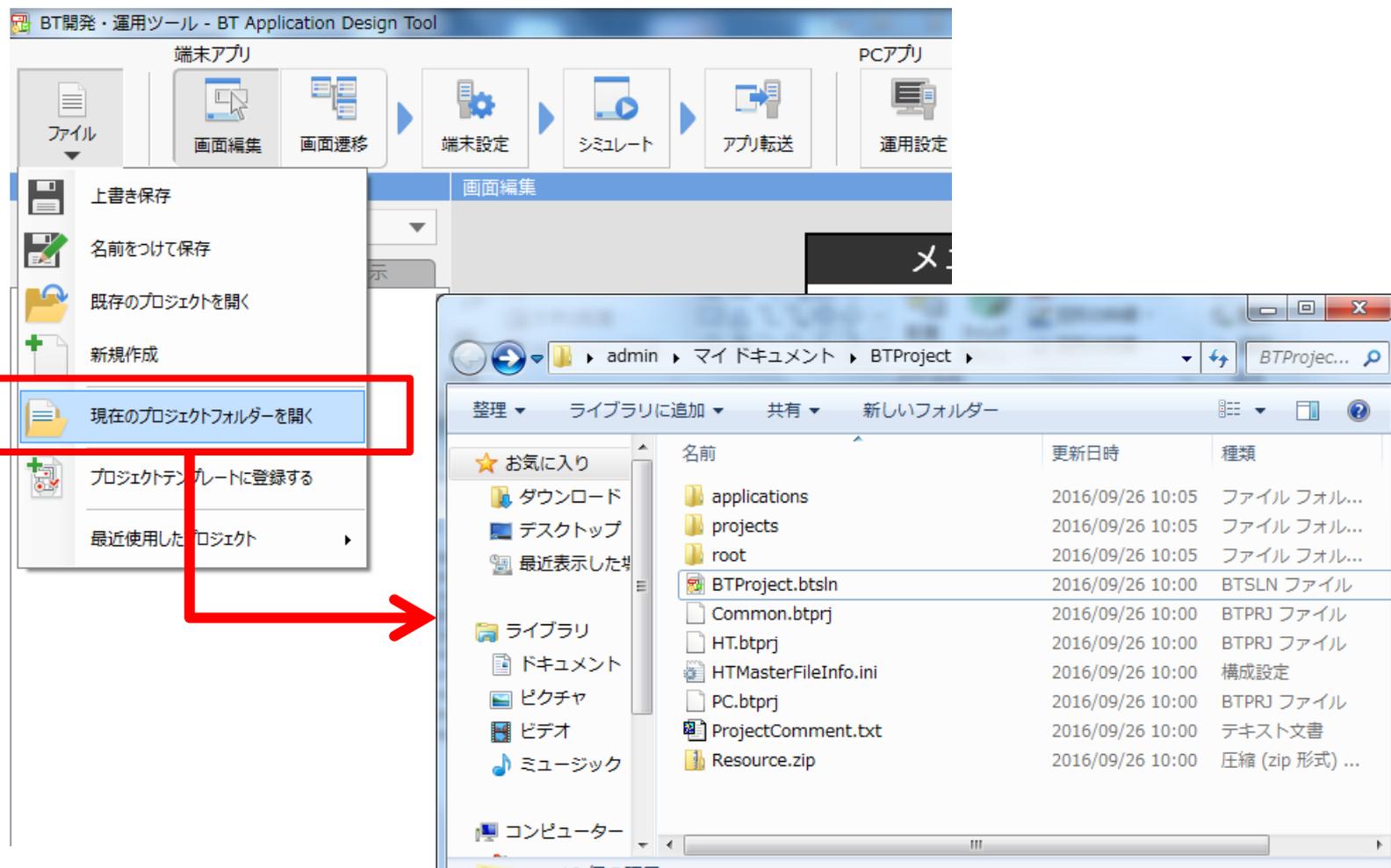
「BTアプリケーションビルダー」で作成したプロジェクト内のemuフォルダからファイルコピーするのがお勧めです。

2-1. シミュレーションで動作確認する場合



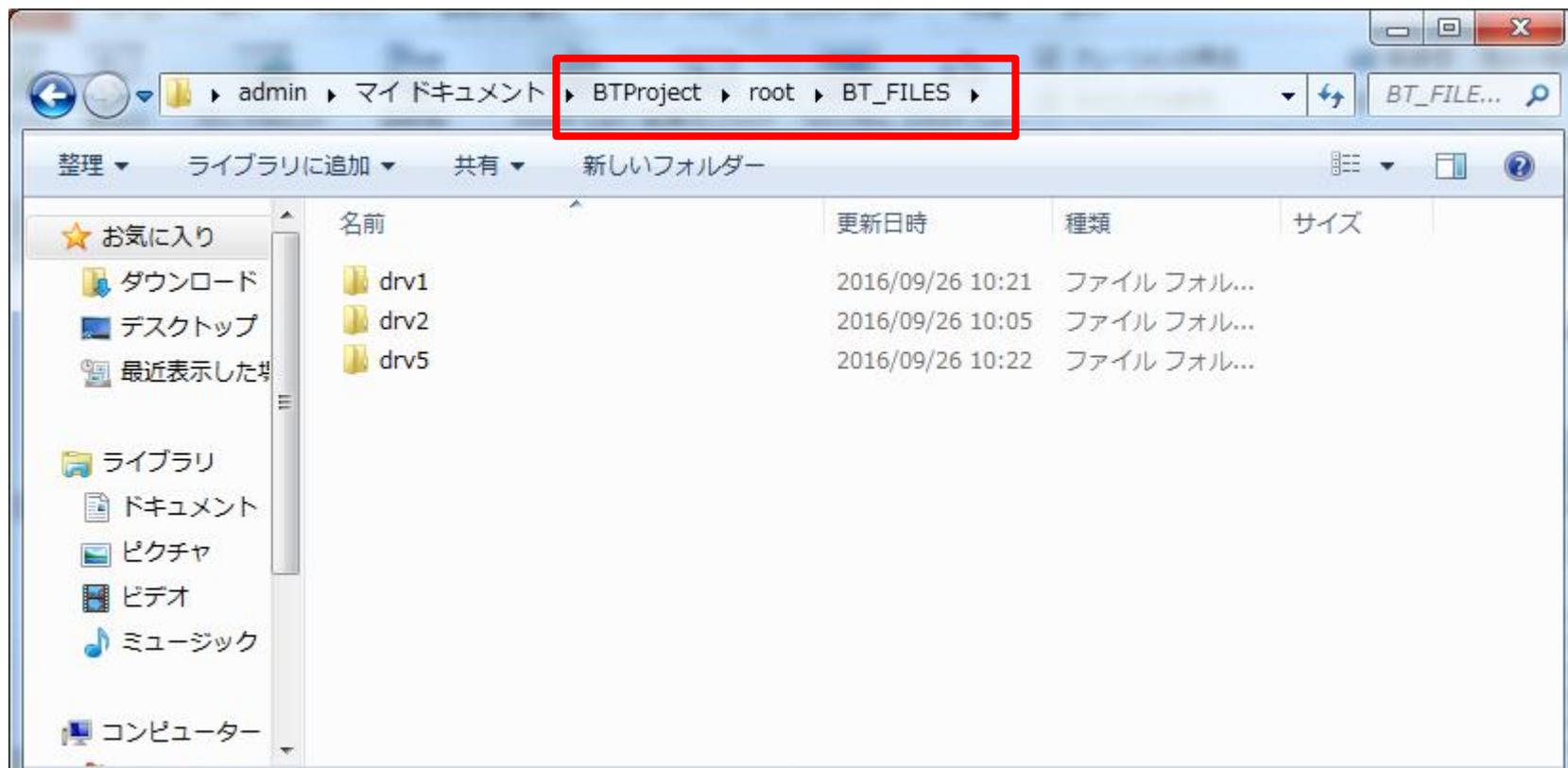
③ BT-H1Aの[シミュレート]ボタンを押下すると、動作確認できます。

2-2. 実機で動作確認する場合



- ① (アプリ内でマスタを使用している場合のみ)
現在のプロジェクトフォルダを開きます。

2-2. 実機で動作確認する場合



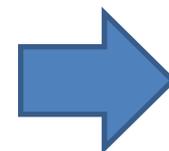
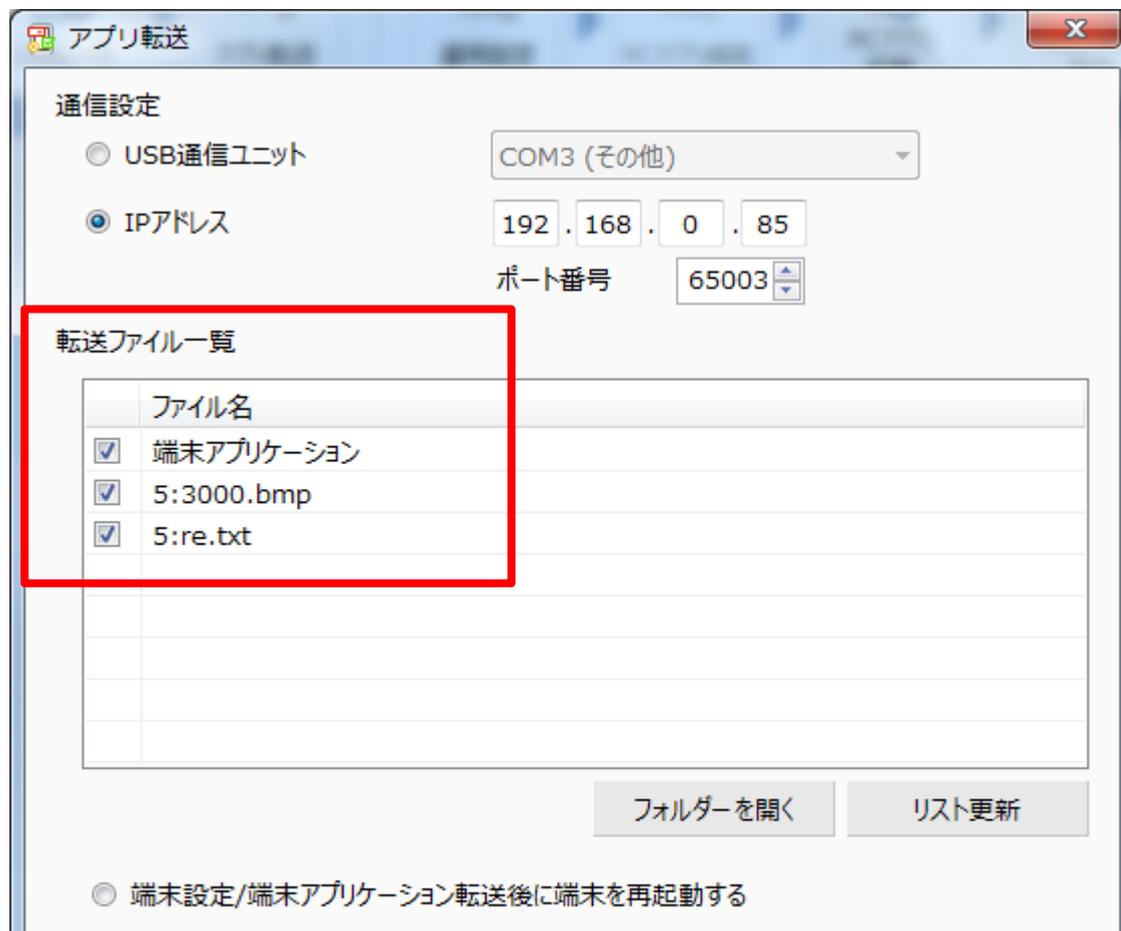
② (アプリ内でマスタを使用している場合のみ)

[プロジェクトフォルダ]¥root¥BT_FILES 以下に、
必要なマスターファイルなどを手動で配置します。

ポイント：置き換えマスタは変換後のものを配置する必要があります。

「BTアプリケーションビルダー」で作成したプロジェクト内のemuフォルダからファイルコピーするのがお勧めです。

2-2. 実機で動作確認する場合



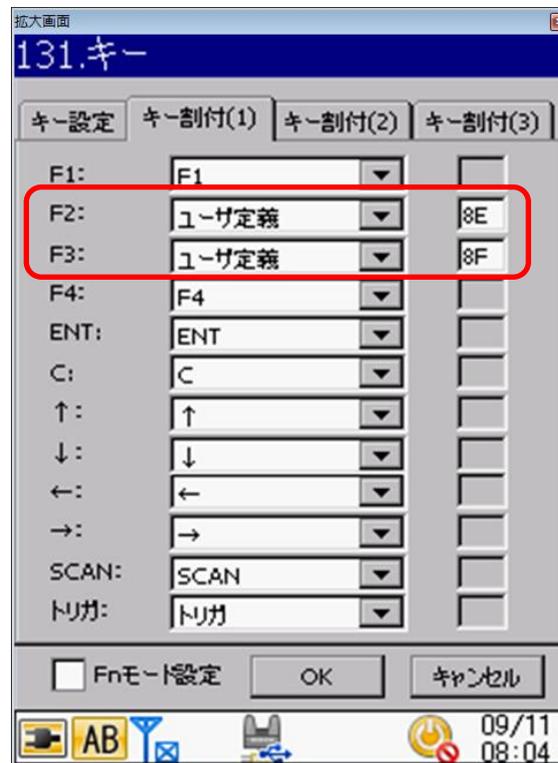
③ [アプリ転送]を選択し、②で配置したファイルが転送ファイル一覧に表示されることを確認し、実機へ転送します。

【注意】この移行方法では専用機と同様に、アプリケーションが終了しなくなります。
終了させるには電源OFFしてから、**F1+PWキー同時押し**で起動してください。

2-2. 実機で動作確認する場合

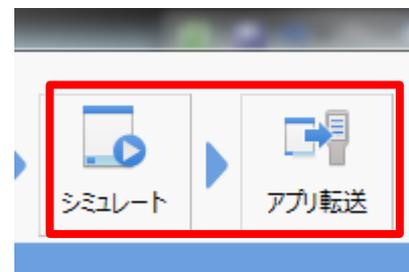
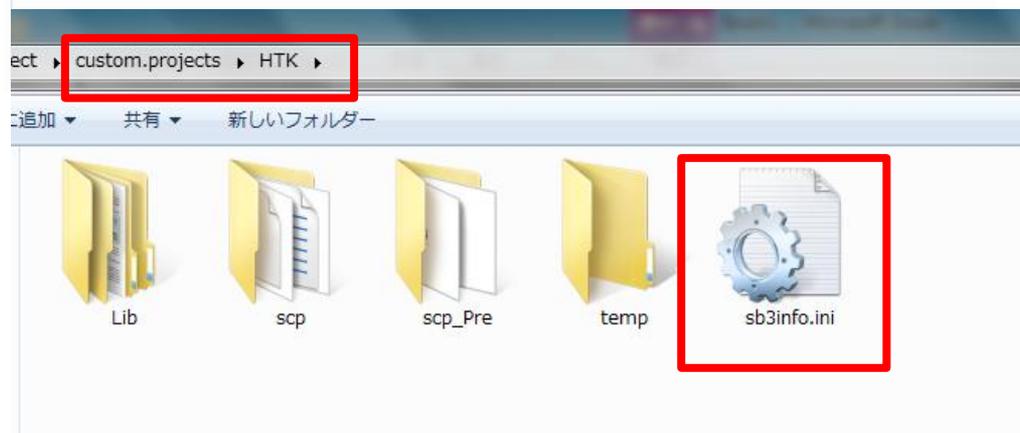
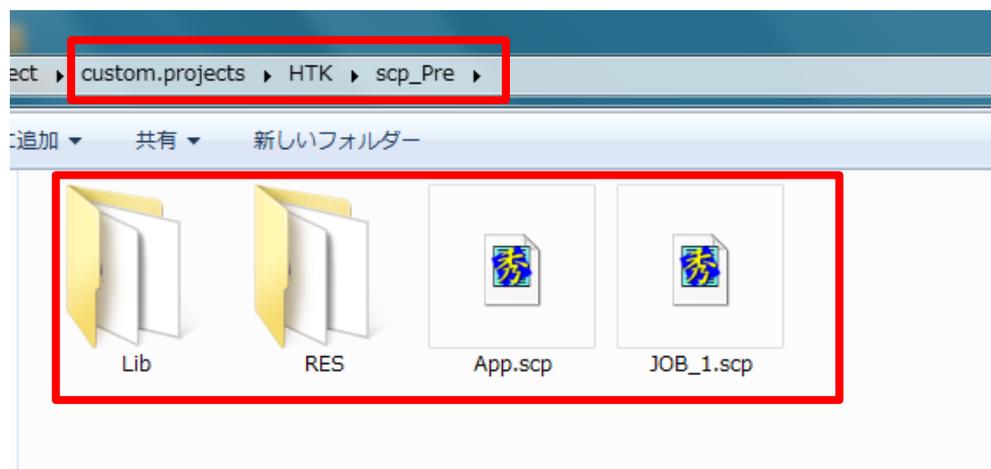


(例) Lキーを「F2」、Rキーを「F3」に割り当てる場合



- ④ 専用機のL/Rキーを、ファンクションキー等に割り当てます。
BTシステムメニュー→「131.キー」の[キー割付]タブにて、割り当てたいキーの“ユーザー定義”を選択して、
Lキー…8E Rキー…8F
と設定します。

(補足)-1. クイックアップデートでの更新



専用機の「無線システム管理ソフト」を使用して、アプリケーション更新を行う場合の手順です。

- ① "scp_Pre"フォルダへ移動し、プログラムを修正します。
- ② "HTK"フォルダへ移動し、"sb3info.ini"の"version"の値を更新します。
- ③ BT-H1Aの[シミュレート]で動作確認し、[アプリ転送]を押下します。

(補足)-2. バックライトを明るくする

With LCD

:backLightNormal = "mid" ⇒ "high"に変更
:backLightStandby = "low" ⇒ "mid"に変更
:backLightTimer = 5 ⇒ 30(秒)に変更

End With

専用機のデフォルト設定ではバックライトが暗めになってしまうため、BT-Wシリーズ用に明るくしたい場合は、ソース修正してください。

- ① scp_Preフォルダ内の「App.scp」もしくは「RES¥App_Res.scp」内を “backLight” で検索し、ヒットした箇所を上記赤字のように修正します。
- ② [アプリ転送]にて、実機にアプリケーションを転送します。(10ページ参照)

(補足)-3. 専用機とBT-Wのドライブ比較

専用機	BT-Wシリーズ
ドライブ0 (ROM)	¥FlashDisk¥BT_FILES¥drv0
ドライブ1 (ROM)	¥FlashDisk¥BT_FILES¥drv1
ドライブ2 (RAM)	¥RamDisk¥BT_FILES¥drv2
ドライブ3 (ROM)	¥FlashDisk¥BT_FILES¥drv3
ドライブ5 (SDカード)	¥SDCard¥BT_FILES¥drv5 (必要時のみ、手動でフォルダ作成)